

(様式3) 目的設定表(令和03 年度) 予算区分:通常

要求区分: 令和 3年度 6月補正予算

確定日(令和03 年 07 月 15 日)

事業コード	11010130			政策コード	11	政策名	その他政策						
事業名	『秋田県』誕生150年記念事業			施策コード	01	施策名	その他施策						
				指標コード	01	施策目標(指標)名				その他施策関連事業			
部局名	総務部	課室名	総務課	班名	企画班	(tel)	1054	担当課長名	菅生淑子	担当者名	草野邦俊		
評価対象事業(計画)の内容													
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)						3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)							
本県誕生150年の節目を契機に、本県の社会経済がどのような発展を遂げてきたのかを県民一人ひとりが振り返り、今後の本県の発展に想いをはせる機会を提供する。また、コロナ禍により県民の間に漂う沈滞ムードを払拭する。						現代に至るまでの歩みを県民一人ひとりが振り返り、ふるさとの価値を再発見することで郷土に対する愛着心や誇りを醸成する。また、県民が一体となり、将来に向けて更に力強く発展していく「秋田県」への思いをはせることで秋田の元気創出を図るとともに、150年を祝う。							
						(重点施策推進方針との関係) ○ 重点事業として要望 ● その他事業として要望							
2. 住民ニーズの状況						4. 目的達成のための方法							
①ニーズを把握した対象 □ 受益者 □ 一般県民 (時期: 年 00 月)						①事業の実施主体							
						「秋田県」誕生150年記念事業実行委員会(県、市長会、町村会)							
②ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 □ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に)						②事業の対象者・団体							
						一般県民							
③ニーズの具体的内容						③達成のための手段							
						記念フォーラムにおいて、知事が県出身知識人等と対談し、150年間における本県社会経済に大きな影響を与えた出来事を取り上げ、写真等とともに当時を振り返り、これらがその後の本県産業の発展にどのような影響を与えたのか、これからの本県の発展はどのようなものになるべきかを論じる。県民にフォーラムの映像や議論内容を配信するほか、歴史的写真の展示会や映像の上映会等も実施し、本県の歴史を振り返る機会を幅広く提供する。							
④比較した代替手段及び選択した手段の有効性						県民の代表たる知事や、県を代表する知識人・著名人の発信が、県民一人ひとりが郷土愛を自覚し、今後の本県の発展に想いをはせる効果的なきっかけとなる。また、資料提供や広報などにおいて各市町村の協力が必要であることから、それぞれを包括している市長会、町村会と県を構成員として実行委員会を組織し、事業を実施する。							
◎把握してない場合の理由及び今後の方針													
①理由		立県100年に当たっては、式典やその前夜祭等大規模な記念事業を実施したことから、150年目に当たっても記念事業の実施が必要と判断したため。											
②今後の方針		新聞、テレビ、SNS等を通じ、県民に本県の歴史や記念事業について周知し、効果的な実施を図る。											
5. 事業の全体計画及び財源													
単位(千円)													
順位	事業内訳			左の説明			03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	全体(最終)計画
01	『秋田県』誕生150年記念事業			記念フォーラムや写真展等の実施に係る費用として、「秋田県」誕生150年記念事業実行委員会に対する補助を行う。			3,250	0	0	0	0	0	0
財源内訳		左の説明					3,250	0	0	0	0	0	0
国庫補助金							0	0	0	0	0	0	0
県の債							0	0	0	0	0	0	0
その他の							0	0	0	0	0	0	0
一般財源		3,250,000					3,250	0	0	0	0	0	0

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果	本県の社会経済がどのような発展を遂げてきたのかを県民一人ひとりが振り返り、今後の本県の発展に想いをはせ、本県の元気創出を図る。
-------------------	---

指標！	指標名								指標の種類
	指標式								○成果指標 ○業績指標
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a		0	0	0	0	0	0	
	実績b	0	0	②データ等の出典					
	東 北	0	0						
	全 国	0	0						
③把握する時期 ○ 当該年度中 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月									

指標Ⅱ	指標名								指標の種類
	指標式								☐ 成果指標 ☐ 業績指標
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a		0	0	0	0	0	0	
	実績b	0	0	②データ等の出典					
	東 北	0	0						
全 国	0	0							
③把握する時期 ☐ 当該年度中 月 ☐ 翌年度 月 ☐ 翌々年度 月									

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

本事業は県民に歴史を振り返る機会や今後の発展に思いをはせる機会を提供するものであり、指標により効果を図ることは難しいため。

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

県民の郷土愛の醸成につながるが見込まれる。

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

県民の郷土への愛着心・誇りの醸成につなげることを目指して実施するものであり、コロナ禍により県民の間に漂う沈滞したムードを払拭する意味でも、実施が必要と認められる

住民ニーズに照らした事業の必要性

本県の誕生１５０年を契機として、現代に至るまでの本県の歩みを県民一人ひとりが振り返り、ふるさとの良さや価値を再発見する機会を提供する。

事業の県関与の必要性

- ☐ 法令・条例上の義務 ☐ 内部管理事務 ☒ 県でなければ実施できないもの
☐ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

「秋田県」誕生１５０年を記念する事業であることから、市町村から必要な協力を得つつも、県が中心となって実施すべき事業である。

政策評估委員會意見

重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

○重点事業 ○その他